

## 請求の範囲

[1] 底面吸込口を有する吸込口本体と、  
前記底面吸込口に連続して前記吸込口本体の前面に形成された前面吸込口と、

前記前面吸込口の開口面積を変えるように、前記前面吸込口を形成する壁の少なくとも一部を移動可能にする調整機構とを備え、前記調整機構は、壁や家具等に当接されて押圧された際、前記前面吸込口の開口面積を小さくすることを特徴とする吸込口体。

[2] (補正後) 前記前面吸込口を形成する壁の少なくとも一部は、前記吸込口本体の前面に形成された開口の一部を覆うように配置されたカバーから成り、前記調整機構は、前記カバーを、前記前面吸込口の開口面積を大きくする位置と、前記前面吸込口の開口面積を小さくする位置との間に移動し得るように構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の吸込口体。

[3] (補正後) 前記カバーは、下端が回転できるように上端が前記吸込口本体に取り付けられ、壁や家具等に当接されて押圧された際、下端が前記前面吸込口の開口面積を狭めるように回転されることを特徴とする請求項 1 に記載の吸込口体。

[4] 底面吸込口が形成された吸込室を有する吸込口本体と、  
前記吸込室に回転可能に配置され且つ清掃部材を有する回転清掃体と、  
前記吸込口本体の前面に前記底面吸込口に連続して形成された前面吸込口と、

前記回転清掃体の一部が前記前面吸込口から前方に突出された状態と、  
該回転清掃体の一部が前面吸込み口から突出しない状態とを形成するように、前記前面吸込口を形成する壁の少なくとも一部を移動可能にする調整機構とを備え、前記調整機構は、壁や家具等に当接されて押圧された際、前記回転清掃体の一部を

前記前面吸込口から前方に突出させることを特徴とする吸込口体。

〔5〕（補正後）前記回転清掃体は、清掃部材が、前方から後方に向けて被清掃面を清掃するように回転可能であることを特徴とする請求項4に記載の吸込口体。

〔6〕（補正後）前記回転清掃体は、軸部と、該軸部の円周方向に間隔をあけて軸部に取り付けられた長さの異なる複数の清掃部材とを有し、長い清掃部材は、短い清掃部材より弾性変形し易く設定されていることを特徴とする請求項4に記載の吸込口体。

〔7〕（補正後）前記前面吸込口を形成する壁の少なくとも一部は、前記吸込口本体の前面に形成された開口の一部を覆うように配置されたカバーから成り、前記調整機構は、前記カバーを、前記前面吸込口の開口面積を大きくする位置と、前記前面吸込口の開口面積を小さくする位置との間に移動し得るように構成されていることを特徴とする請求項4に記載の吸込口体。

〔8〕（補正後）前記カバーは、下端が回転できるように上端が前記吸込口本体に取り付けられ、壁や家具等に当接されて押圧された際、下端が前記清掃部材の少なくとも一部を前記前面吸込口から突出させるように、回転されることを特徴とする請求項5に記載の吸込口体。

〔9〕（補正後）前記カバーが、軟質の樹脂で形成されていることを特徴とする請求項5または6に記載の吸込口体。

〔10〕（補正後）前記カバーの表面に凹凸部が設けられていることを特徴とする請求項5または6に記載の吸込口体。

[11] 底面吸込口を有する吸込室と該底面吸込口に連続して形成された前面吸込口とを有する吸込口本体と、

前記吸込室に回転可能に配置され且つ清掃部材を有する回転清掃体と、

前記前面吸込口の開口面積の大きさを変える調整機構とを備え、

前記調整機構は、前記吸込口本体の前面が壁や家具等に当接されて押圧された際、前記前面吸込口の開口面積を小さくすると共に、前記回転清掃体の清掃部材の少なくとも一部を、前記前面吸込口を通して前記吸込口本体より前方に突出するように、前記前面吸込口の開口の大きさを変えるように構成されていることを特徴とする吸込口体。

[12] (補正後) 請求項1、4、または11のいずれか1つに記載の吸込口体を備えていることを特徴とする電気掃除機。